令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	病児・病後児保育事業				コード	01020300-0401	
中事業名	病児・病後児保育事業				計画区分	①	
担当部等	こども未来部			担当課等	こども課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	03	民生費
	主要施策	03	子育てと社会参加の両立支援		項	02	児童福祉費
					目	01	児童福祉総務費
					大	04	病児・病後児保育事業
					中	01	病児・病後児保育事業
根拠法令・条例等	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
基本計画等	第二期日進市子ども・子育て支援事業計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	看護士及び保育士の人員配置基準を満たし、病児病後児保育を実施する事業者に業務委託を行う。
対象	保護者の就労等により、病児病後児保育を必要とする生後6ヶ月から小学校第3学年までの児童
意図（目的）	保護者の子育てと就労の両立を支援するために、病気又は病気の回復期にあり集団保育等が困難で、かつ、保護者が勤務等の都合により家庭での育児を行うことが困難な児童を一時的に預かる。
手段	医療機関における病児病後児保育の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			16,620	15,349	16,620	15,444	16,620	15,444	16,620
財源内訳	特定財源	国庫支出金	3,449	1,427	3,449	1,558	3,517	0	4,167
		県支出金	3,449	3,265	3,449	4,265	3,517	0	4,167
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		9,722	10,657	9,722	9,621	9,586	15,444	8,286

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	登録者数を増やすために、今後も入園案内の際等に周知していく。また、関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症予防を適切に実施しながら、本事業を維持しつつ、アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた事業のあり方を研究していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	利用者の利便性の向上に努め、事業の継続をしていく。また、登録者数を増やすために、周知の手法を検討していく。 新型コロナウイルス感染症が終息すると利用者数が復活すると推測されるため、サービス提供の拡大について検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	保育園や幼稚園の新入園児の保護者に申請書の配布により周知を行い、随時利用希望者を受け付けた。

成果	登録者数が前年度と同程度で、制度は浸透してきている。
課題	利用者数が昨年度比では増加したが、マスク着用、消毒等の新型コロナウイルス感染症予防により、インフルエンザ等の感染症の流行がなかったため、利用者は以前に比べ少ないが、今後も引き続き、より多くの利用者が必要に応じ安心して利用できるように医療機関と連携を行い、事業の拡充を図っていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	利用ニーズに対する効果も高く、利用希望にはすべて応じることができた。昨年比では利用者数が増加したが、新型コロナウイルス感染症の二次感染予防対策等を踏まえた、現状に即したサービス提供の拡大について検討が必要である。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		登録者数を増やすために、今後も入園案内の際等に周知していく。また、医療機関における新型コロナウイルス感染症予防を適切に実施していくために連携していく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		利用者の利便性の向上に努め、事業の継続をしていく。また、登録者数を増やすために、周知の手法を検討していく。			

【アウトプット指標】

指標名	延べ利用児童数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	780.00	679.00	780.00	222.00	500.00	331.00	500.00

【アウトカム指標】

指標名	登録児童の割合					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	17.50	20.67	20.00	20.68	25.00	20.94	25.00
式	登録児童数／対象児童数（6か月～3年生）×100（令和4年2月末現在）						
指標の狙い	セーフティーネットとしての事業であることから、登録者数の増加を目指す。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	公立保育園事業				コード	01020300-0201	
中事業名	公立保育園管理運営事業				計画区分	―	
担当部等	こども未来部		担当課等	こども課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	03	民生費
	主要施策	03	子育てと社会参加の両立支援		項	02	児童福祉費
					目	03	保育所費
					大	02	公立保育園事業
					中	01	公立保育園管理運営事業
根拠法令・条例等	児童福祉法、子ども・子育て支援法						
基本計画等	第二期日進市子ども・子育て支援事業計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	児童福祉法に定められた保育の実施に必要な、公立保育園の管理運営を行う。
対象	保育を必要とする児童及びそれが入所する公立保育園
意図（目的）	保育を必要とする児童が適切な保育が受けられるようにする。
手段	保育利用決定、公立保育園における保育サービスの提供

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			745,620	716,651	859,058	749,355	872,324	827,097	933,827
財源内訳	特定財源	国庫支出金	727	52,033	361	30,769	2,997	4,007	3,024
		県支出金	3,403	2,751	3,037	905	5,050	2,848	6,153
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	375,658	295,814	167,751	196,619	212,301	192,938	196,281
	一般財源		365,832	366,053	687,909	521,062	651,976	627,304	728,369

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	日進市保育施設の運営・整備に関する計画に基づく、公立保育園に求められる役割を果たすための資源（人、物）の確保方法を検討していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	上記の状況を踏まえ、中長期的に公立保育園の運営、整備のあり方について調査研究していく。

令和 3年度に取り組んだこと	新型コロナウイルス感染症予防対策が求められる中で、緊急消毒作業を行う等、滞りなく保育を実施した。また、まん延防止等重点措置適用期間中においては、保育料・給食費を日割りで返還する等の対応を実施した。

成果	まん延防止等重点措置適用期間中及び感染、濃厚接触者指定を受けた園児については保育料・給食費を日割り返還する等対応することにより、新型コロナウイルス感染拡大予防に繋げることができた。
課題	保育士募集をかけているが、延長・早朝時間帯における保育士の確保が困難であり、また、新型コロナウイルス感染症予防対策を始め、安心して保育園に通園できる環境整備を進める必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	施設面では、トイレ改修工事、空調改修工事等により、安全面が向上した。本市の保育ニーズは今後も高いことが予想され、保育士の確保も様々な手法を検討する中で、改善を進めていく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	引き続き、安心して通園できるよう施設整備の優先度を見極めながら進めていく必要がある。また、人材確保についても新聞折込広告を始め、様々な手段を模索していく。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	公立保育園の民営化を計画的に進めるための検討を行う。保育士配置を適正に行うため、民間保育施設との連携により改善していく。また、施設の改修工事についても進めていく。				

【アウトプット指標】

指標名	公立保育園在園児数（3月1日現在）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,520.00	1,444.00	1,520.00	1,435.00	1,520.00	1,431.00	1,520.00

【アウトカム指標】

指標名	公立保育園園児受入率（3月1日現在）					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	95.00	92.50	95.00	91.93	95.00	91.67	95.00
式	公立保育園在園児数／公立保育園定員×100（3月1日現在）						
指標の狙い	定員を余すことなく希望者を受け入れ、保育園の稼働率を上げていく。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	民間保育所事業			コード	01020300-0301
中事業名	認可保育所等支援事業			計画区分	―
担当部等	こども未来部		担当課等	こども課	

総合計画	コード	名称	予算科目	コード	名称
基本目標	01	健やかに暮らす	会計	1	一般会計
基本施策	02	子育て・子育ち支援	款	03	民生費
主要施策	03	子育てと社会参加の両立支援	項	02	児童福祉費
			目	03	保育所費
			大	03	民間保育所事業
			中	01	認可保育所等支援事業

根拠法令・条例等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、日進市民間保育所補助金交付要綱
基本計画等	第二期日進市子ども・子育て支援事業計画

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	子ども・子育て支援法に基づき、施設型給付費・地域型給付費、委託費の支払いを行う。日進市民間保育所補助金交付要綱に基づき、民間保育所の運営費の補助を行う。
対象	市内民間認可保育所等（平成30年度　保育所5園、認定こども園3園、小規模保育事業所5園）、市外民間認可保育所等（広域での利用者がいた場合）
意図（目的）	適切な保育提供量の維持確保及び保育の質の向上を図る。
手段	子ども子育て支援法に基づく委託費・給付費の支払、民間保育所補助金の交付

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			1,710,277	1,786,389	1,409,684	1,451,027	1,486,523	1,479,102	1,472,944
財源内訳	特定財源	国庫支出金	883,965	793,246	564,179	627,175	616,336	629,786	624,107
		県支出金	175,077	407,803	279,412	291,959	293,978	287,255	294,297
		地方債	16,000	0	0	0	0	0	0
		その他	246,846	97,428	100,945	75,222	82,493	69,870	74,840
	一般財源		388,389	487,912	465,148	456,671	493,716	492,191	479,700

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	補助金等の活用により、令和３年度中に新たに１施設の小規模保育事業所を開所し、低年齢児の保育の受入を拡大していくとともに事業所の健全な保育所運営に資するよう適切な支援を継続していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	令和６度までに新たに１園の幼保連携型認定こども園を開園し、０歳児から５歳児の保育の受入を拡大していく。

令和 3年度に取り組んだこと	民間保育所の入園希望者に対し受入を行い、通常保育及び延長保育、一時保育を行った事業所への委託費・給付費の支払い、補助金の交付を行った。 また、小規模保育事業所１園の開園を進めた。

成果	新設の小規模保育事業所が開園したことにより、保育の受入枠が拡大し、保育ニーズに対応することができた。また、必要な補助金等の交付により、民間園の健全な運営に繋げることができた。
課題	在籍園児数に応じて、委託費、給付費が算出されるので、園の定員に対する充足率によっては、金額が少なくなる場合もあるので、市が行う入園案内を適切に行う必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	新設園によって、保育の受入枠を拡大することができたが、今後も市の待機児童数を減らすために、民間保育施設との連携により、市全体で保育の受入を検討していく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		補助金等の活用により、事業所の健全な保育所運営に資するよう適切な支援を継続していく。また、保育所型認定こども園の幼保連携型認定こども園への移行を進めていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		低年齢児の保育の受入を拡大していく。			

【アウトプット指標】

指標名	民間認可保育所等園児数（3月1日現在）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	750.00	707.00	937.00	932.00	1,073.00	986.00	1,085.00

【アウトカム指標】

指標名	認可保育所等園児受入率（3月1日現在）					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	94.30	100.00	88.42	100.00	91.89	100.00
式	市内民間認可保育所等（保育所、幼保連携型認定こども園、小規模保育事業）在園児数／市内民間認可保育所等定員×100（3月1日現在）						
指標の狙い	園児受入率が高まることで収入が確保でき、安定した施設運営が可能となり保育の質の向上につながると判断できる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	民間保育所事業				コード	01020300-0302	
中事業名	認可外保育所支援事業				計画区分	―	
担当部等	こども未来部		担当課等	こども課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	03	民生費	
主要施策	03	子育てと社会参加の両立支援		項	02	児童福祉費	
				目	03	保育所費	
				大	03	民間保育所事業	
				中	02	認可外保育所支援事業	
根拠法令・条例等	日進市民間保育施設運営費補助事業実施要綱						
基本計画等	第二期日進市子ども・子育て支援事業計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	児童福祉法に基づき、保護者の就労・疾病等により保育を必要とする児童のうち、認可保育園に入れない児童の受け入れ先となっている認可外保育施設に対して、運営費の補助を行う。
対象	市内在住の利用者のいる認可外保育施設
意図（目的）	補助制度を導入することにより、認可保育所と認可外保育施設の保育料の格差を是正し、特に低所得世帯の経済的負担が少なくなり、認可外保育施設に入りやすくなるため、結果として市内の待機児童解消につながる。
手段	日進市民間保育施設運営費補助事業実施要綱に基づく補助金の交付

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			5,724	2,330	3,276	2,079	3,276	2,515	5,580
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		5,724	2,330	3,276	2,079	3,276	2,515	5,580

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	市内での待機児童対策として認可外保育施設を運営する担い手を確保できるよう、補助要件や内容、金額等についての見直しを検討していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	待機児童数を見ながら認可外保育施設を運営する担い手の確保について、補助要件や内容、金額等についての見直しを検討していく。

令和 3年度に取り組んだこと	適正に遅滞なく補助金を交付し、園の健全な運営に寄与した。

成果	市から補助金を支出することで、認可外保育施設の経営状態を安定させることによって、児童がより良い環境での保育を受けられるようになった。
課題	市内の事業者数が認可化移行や経営難により減少し、新規の認可外保育施設は、内閣府主導の企業主導型によるものとなっていることから、当制度の対象となる施設が減少している。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	認可保育所の定員により待機となった児童の保育の重要な受け皿であることから、今後も認可外保育施設に対しては市の保育施設の一つとして、必要な補助金を支出していく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	待機児童数の動向を見ながら、市内で新たに認可外保育施設を運営する担い手を得られるよう、募集の検討を行っていく。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	市内での新たに認可外保育施設を運営する担い手を得られるよう、募集の周知を行っていく。				

【アウトプット指標】

指標名	認可外保育施設園児延べ数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	200.00	125.00	150.00	96.00	150.00	111.00	150.00

【アウトカム指標】

指標名	市内認可外施設に通う市内在住園児率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	90.00	95.00	90.00	84.62	90.00	76.92	90.00
式	市内認可外施設に通園している市内在住園児数／市内認可外施設の定員数×100						
指標の狙い	市内の認可外施設に通園する園児の割合が増えることで認可外保育施設が待機児童対策に寄与しているといえることから、一定目標を維持することを目標とする。（目標数90%）						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	幼児教育・保育無償化事業				コード	01020300-0401	
中事業名	幼児教育・保育無償化事業				計画区分	―	
担当部等	こども未来部		担当課等	こども課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	03	民生費
	主要施策	03	子育てと社会参加の両立支援		項	02	児童福祉費
					目	03	保育所費
					大	04	幼児教育・保育無償化事業
					中	01	幼児教育・保育無償化事業
根拠法令・条例等	子ども・子育て支援法						
基本計画等	日進市子ども・子育て支援事業計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	3歳以上の児童（及び住民税非課税世帯の3歳未満児）の保育料を無償化する。
対象	3歳以上の児童（及び住民税非課税世帯の3歳未満児）
意図（目的）	保育料の無償化により、子育て世代の負担を軽減し、もって住民の福祉を向上するもの。
手段	現物給付及び償還払いの手法により、保育料を無償化する。

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			0	0	393,844	442,812	479,824	403,950	468,341
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	198,532	210,369	238,945	200,905	234,207
		県支出金	0	0	97,656	105,087	120,272	101,005	117,223
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	97,656	127,356	120,607	102,040	116,911

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き市内の子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園へ制度の周知を行う。また、国の制度改正等があった場合に早急に対応できるよう国の動向を注視する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	OCR等のAI技術を活用する等、事務の効率化、正確性の向上を検討する。 また、扶助費の適正な支給事務を実施する。

令和 3年度に取り組んだこと	子ども・子育て支援新制度未移行幼稚園に通園する児童の授業料（保育料）、預かり保育、認可外保育施設の利用料の無償化を実施した。

成果	適正な事務執行により、対象者に対して無償化を実施することができた。
課題	申請件数が多い中で、AI技術の導入等の適切な事務方法を検討していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	無償化の実施は、申請に基づき実施するものであり、子育て世代の教育・保育の費用負担の軽減を確実に実施するために、今後も園と連携し、確実に実施していく必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		申請の電子化やRPA技術を活用する等、事務の効率化、正確性の向上を検討する。 また、扶助費の適正な支給事務を実施する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		申請の電子化やRPA技術を活用する等、事務の効率化、正確性の向上を検討する。 また、扶助費の適正な支給事務を実施する。			

【アウトプット指標】

指標名	未移行幼稚園の無償化園児数（3月1日現在）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			1,400.00	1,350.00	1,400.00	1,258.00	1,400.00

【アウトカム指標】

指標名	未移行幼稚園無償化児童の割合					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
			50.00	43.27	50.00	41.16	50.00
式	無償化児童数／対象児童数（３歳～５歳）（令和4年3月末現在）						
指標の狙い	一定数の割合を維持することで、幼児教育の実施を維持する。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	私立幼稚園補助事業				コード	01020300-0501	
中事業名	私立幼稚園事業者補助事業				計画区分	―	
担当部等	こども未来部		担当課等	こども課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計
	基本施策	02	子育て・子育ち支援		款	10	教育費
	主要施策	03	子育てと社会参加の両立支援		項	01	教育総務費
					目	02	事務局費
					大	05	私立幼稚園補助事業
					中	01	私立幼稚園事業者補助事業
根拠法令・条例等	日進市私立幼稚園補助金条例、日進市私立幼稚園補助金条例施行規則						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	幼児教育の充実に必要となる環境整備の実施、教育資材等の購入を行う事業者に経費の一部の補助を行う。
対象	日進市内在住の幼児が通園する私立幼稚園の設置者
意図（目的）	日進市内の幼児が通園する私立幼稚園の設置者に対し必要な経費の一部を補助することにより、幼児教育の一層の充実を図る。
手段	私立幼稚園の環境整備等の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			18,500	18,054	18,500	14,316	15,200	14,708	16,000
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	18,054	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		18,500	0	18,500	14,316	15,200	14,708	16,000

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	近年、補助対象園児数が減少傾向であることから、令和３年度の状況を確認しつつ、近隣市町の同様な事務事業の状況を確認していく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	上記の状況を踏まえつつ、対象園の動向を注視しながら人口動態を捉え、中長期的に補助事業自体のあり方について調査研究していく。

令和 3年度に取り組んだこと	補助金交付事務（申請、決定、支給）を滞りなく行った。

成果	計画的に私立幼稚園に対し補助金を交付することにより、市内私立幼稚園の幼児教育の質の向上に資することができた。
課題	今後も幼稚園と連携を図り、計画的・効率的に補助金の交付をしていく。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	有効な補助により、確実な幼稚園運営に資するものとなっている。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	引き続き補助金の適正な支給事務を実施する。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	引き続き補助金の適正な支給事務を実施する。				

【アウトプット指標】

指標名	経常費補助対象園児数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,050.00	967.00	800.00	783.00	800.00	749.00	800.00

【アウトカム指標】

指標名	市内私立幼稚園に通う市内在住園児率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	90.00	75.25	90.00	79.49	90.00	76.04	90.00
式	市内私立幼稚園に通園している市内在住園児数／市内私立幼稚園の定員数×100						
指標の狙い	市内の私立幼稚園に通園する園児への優遇制度であることから、一定目標を維持することを目標とする。（目標数90%）						